

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和 7年7月1日 ~ 9月 9日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	にじのいろ保育園 ニジノイロホイクエン		
所 在 地	〒260-0843 千葉市中央区末広2-12-17三和ビル1階		
交通手段	JR外房線内房線本千葉駅 徒歩14分 京成ちはら台線千葉寺駅 徒歩12分		
電 話	043-312-1187	FAX	043-312-1187
ホームページ	<a href="http://nijinoiro.wixsite.com/nijinoirohoikuen">http://nijinoiro.wixsite.com/nijinoirohoikuen</a>		
経 営 法 人	株式会社新星		
開設年月日	2017年4月1日		
併設しているサービス	一時預かり保育		

(2) サービス内容

対象地域	千葉市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	6	6	7	7	7	7	40		
敷地面積	507.24㎡			保育面積			238.04㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育(短時間認定のみ)		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	定期健康診断 内科年2回 歯科年1回								
食事	給食(自園調理)								
利用時間	7:30~18:30								
休 日	土日、「国民の祝日に関する法律」に定められた休日、年末年始								
地域との交流	町内会行事への参加								
保護者会活動	なし								

## (3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	16	3	19	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	14		1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1	1	
	子育て支援	事務職員		
	1	1		

## (4) サービス利用のための情報

利用申込方法	千葉市中央区保険福祉センターこども保育課	
申請窓口開設時間	8:30~17:30	
申請時注意事項	千葉市の規程による	
サービス決定までの時間	千葉市の規程による	
入所相談	千葉市中央区保険福祉センターこども保育課	
利用料金	千葉市の規程による	
食事料金	給食費（副食5,160円 主食1,000円）	
苦情対応	窓口設置	あり 主任保育士が担当
	第三者委員の設置	あり 地区の児童委員

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>理念 子どもたちにたくさんの笑顔を 保育方針 1.配慮の行き届いた環境の下、くつろいだ雰囲気の中で愛情をもって子どもに寄り添い、その思いを受け止め、それに応え、信頼感と安心感の中で、自分を肯定する心を育てる。 2.いきいきと遊べる環境や豊かな体験の中で感性を豊かにし、生きる力を育む。 3.家庭や地域と協働し、共に育ち合えるコミュニティの拠点となれるようにする。</p>
<p>特 徴</p>	<p>若手の職員が多いが、当園での経験を積み中堅となるものも多い。退職者が少ない。 保護者とは親密な関係性を築いている。 活気がある。 行事を大切にしている。 地域との繋がりを大事にしている。 自然環境保育認証団体（千葉県）</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>英語の活動（3回／1カ月） リトミック（3回／1カ月） 畑の活動～食育（1年を通して）</p>

# 福祉サービス第三者評価総合コメント にじのいろ保育園

NPO法人ヒューマン・ネットワーク

特に力を入れて取り組んでいること
1. 「0歳児からのつながりのある保育」を全職員で意識しながら、こども一人ひとりを大切にした保育を実践している
こどもの発達には0歳児からの積み重ねの上に成り立つという共通認識のもとで、発達のみならず生活を重要視したつながりのある保育を心がけている。生活の基本「食べる・座る・歩く・約束を守る」などの力は、0歳児から幼児までの間に身につけ、生涯変わらないと考えており、0歳から年齢にあった経験を繰り返すことで、これらの力がしっかりと身につくように実践している。事例として「体幹の育ち」に関しては、職員会議の中で各年齢でできることが違う事を認識し、0・1歳児の取り組み発表を共有した後に、5歳児までにどのようにつなげていくのかを話し合い実践している。また、こども一人ひとりに寄り添い、家庭環境や発達の様子等を的確に把握し、保護者と連携しながら保育を実践することを心がけている。保護者アンケートでの総合評価においても、大変満足・満足と回答された方が多く、94%と高評価であった。
2. 風通しの良い職場づくりに努め、職員一人ひとりの創意工夫を大切にしている
風通しの良い職場づくりに努め、常に話し合い、助け合うチームワークを大切にしている。誰でも話しやすい環境を心がけ、普段から声かけを多くとる様になっている。有給休暇の公平な取得や定時勤務終了など、長く働ける職場づくりに努め、職員スキルアップのため、各種研修に積極的に参加し、個人の成長を認め評価している。また、職員一人ひとりの役割と責任を明確にし、絵本・食育・畑などの「係りの活動」等が保育内容の充実につながるように、職員の創意工夫を大切にしている職場である。開設9年目、退職者は少なく、若手の職員が経験を積み、確実に育っている。
3. こどもたちの体験を大切に日々の食育活動に取り組み、食への親しみや関心を高め、感謝の気持ちを育んでいる
畑では無農薬で白菜、小松菜、大根、ブロッコリー、トマトなどを栽培し、こどもたちは虫がたくさんいることを体験している。近年は猛暑で育ちにくく、こどもたちもなかなか畑まで行けない状況にあり、敷地内のプランターでジャガイモ、きゅうり、オジギソウなどを育て、こどもたちが間近で生長を見たり触ったりできるよう取り組んでいる。また、野菜洗い、ピーラーでの皮むき、包丁でカットすることや食材を和えることなどに挑戦し、収穫から調理までの楽しさを経験することで、苦手な野菜を口にすることも多くなっている。栄養士は食事やおやつ時に巡回し喫食状況を確かめながら調理に活かし、工夫を重ねた行事食を提供するなど、保育者と連携しながらこどもたちの体験を大切に日々の食育活動に取り組み、食への親しみや関心を高め、食事への感謝の気持ちを育んでいる。
4. こどもの成長を職員全員で見守る姿勢が、保護者との高い信頼関係に繋がっている□
今回実施した保護者アンケートは大変高い評価であった。特に「職員の表情・姿勢」「事故防止・安全確保」「戸外遊び」「子どもの園での生活」「保育内容などの情報提供」「給食内容」「体調不良やケガなどの説明」等の項目が高い評価であった。保護者との日々の情報共有を大切にし、朝夕の送迎時の会話や連絡アプリで日中のこどもの様子など丁寧に伝えている。個人面談は希望者やこどもの状況によって随時おこない、保護者の要望や話を聞くように努め、運動会や発表会などの行事後には必ずアンケートを実施し、意見や感想、質問等保護者の思いの把握に努めている。ワンフロアで全園児の情報を共有し、クラス以外の保護者にも声をかけ、職員全員でこどもの成長を見守る姿勢が、保護者との高い信頼関係に繋がっている。□

さらに取り組みが望まれるところ

1. 活動の根拠となる発達の学びや、遊びの幅を広げる技能の獲得等、さらなる保育の質の向上を目指した取り組みに期待したい

「つながりのある保育」を目指し、0歳児の保育の重要性を再確認して保育実践をおこなう中、連続性や繰り返しを意識するとともに、こども一人ひとりに寄り添い褒めること、見守ること、環境作りや言葉かけの工夫等、基本的な事を大切にする保育ができるようになってきた。今後は日々の何気ない活動や職員の言葉かけの中に重要な発達や教育的根拠があることを、更に学びを重ねながら全職員で心がけ、保育実践につなげていくことを期待したい。また、園長の抱負に、職員の得意な技能等を共有する研修の場を設けて、互いに刺激を受けながら高め合い遊びの幅を広げてほしい、という願いがあるため、工夫しながら取り入れ、今後のさらなる保育の質向上を期待したい。

2. 豊富な地域交流をさらに広げ、子育て支援の拠点となる取り組みに期待したい

園では小学校や消防署の見学、ハロウィンイベントなど、地域と積極的に交流しながら保育をすすめている。また、地域の方の協力を得て借りた畑では、畑作りの助言を受けながら地域の方と交流を深めている。さらに、コロナ以降中止となっている地域の夏祭りや盆踊りを園が主体となって今年度開催できるよう積極的に取り組んでいる。今後、地域交流をさらに広げ、保育の専門性を活かし、子育てのアドバイスやサポートなど地域の子育て支援の拠点となる取り組みに期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

令和2年の評価と比べ、2回目となる今回の評価は高いものであったと思う。開園して9年目となる本園は、めざす保育目標をしっかりと持ち、それを職員全員が目指すようになった。今日までの道のりは、決して短いものではなかったが、職員との共通理解は深まり手ごたえを感じている。

0才児からのイスなどに座って聞く読みきかせ、朝の習慣的な体操、しっかりとした食事指導など、0才児から行っているのが、5才児になって身につけている。子どもひとりひとりの良いところも得意なことも、また上手いかない事や苦手な事も、保育士が意識して関わることで、得意な事はより一層自信を持ち、苦手な事はそれを少し工夫して乗り越えることが出来ると思う。「0才からのつながる保育」で、ひとりひとりが自信を持って楽しく過ごせるように、笑顔を増やして保育を行っていききたい。

今回の第三者評価で御指導いただいた事を踏まえて、今後も畑の活動と食育、自然に親しむ活動、地域との交流を考えた活動を大切にして、子ども達の生きる力を育てていきたい。また、保護者に対して子育てについて考える機会を設けて、共に学ぶ新しい取り組みに挑戦して行こうと考えている。

福祉サービス第三者評価項目（にじのいる保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3		
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7		
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3		
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7		
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5		
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4		
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5		
			職員への質の向上への体制整備			
	II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	
				11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	
				12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	
13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。				4		
2 教育及び保育の質の確保		教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3		
			15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4		
3 教育及び保育の開始・継続		教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2		
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4		
4 子どもの発達支援		教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4		
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5		
			項目別実施サービスの質			
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	5	1	
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
	22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		5			
	23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		5			
	24 身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。		4			
	25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。		6			
	26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。		6			
	27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。		4			
	28 家庭との連携が十分図られている。		3			
	29 地域社会との連携が十分図られている。		3			
	30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。		3			
	子どもの健康支援		31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3		
32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。		4				
33 食育の推進に努めている。		5				
5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6			
6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5			
計				158	1	

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念・基本方針は入園のしおり(重要事項説明書)や事業計画、全体的な計画の冒頭に記載し、保育理念の実践に向けて一貫性のある保育を目指している。「子どもたちにたくさんの笑顔を」という理念を基に、「子どもたちの笑顔がたくさん見たい」「たくさんの笑顔で毎日過ごしたい」「職員も子どもたちも楽しい気持ちで笑顔のある毎日を過ごしたい」というわかりやすい言葉で行事や日々の反省会で確認し、保育を振り返り、意見を話し合っている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念・保育方針は入園のしおり(重要事項説明書)に記載され、園見学や入園説明会時に説明を行なっている。また懇親会や行事等の挨拶などでも伝え、お便りや送迎時等の日常会話でも、保護者一人ひとりに理念や方針が伝わるように丁寧に対応している。具体的な実践事例は毎月の園だよりや給食だよりを発行している。今回実施した保護者アンケートでは「保育目標や方針について説明を受け、知っていますか」の設問に対し90%以上の方が肯定的に回答されており、園の努力が確認できる。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事業計画に「今年度の目標」として2項目を設定している。①「つながる保育で経験を深める」こどもたちの畑の活動や運動会の種目練習など様々な経験を一度だけの活動に終わらせず、繰り返しや繋がりの中で、リベンジやチャレンジをまなぶこと ②「係り活動の基礎を築き、保育内容や環境を整える」職員の役割と責任を明確にし、絵本・食育・畑などの係りの活動が保育内容の充実につながるように、環境整備や保育指導をともに考えていくことを今年度の重要課題として取り上げ意欲的に取り組んでいる。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念、保育方針、保育目標、取り組みを理解した上で、保育に活かすように、日誌の反省を基に、保育の振り返りをおこなっている。また、こどもの成長や保護者の喜びを共有し、仕事のやり甲斐を大切にしている。研修面では保育の資質向上と職員のスキルアップにつながるよう、各種研修に積極的に参加を促し成長を認め評価している。役割と責任を明確にして「係り活動」など、一人ひとりの役割を期待し、個人の存在感を大切にしている。風通しの良い職場となるよう、誰でも話しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、常に不安や不満を聞き取り、必要に応じて助言をおこない、援助に努めている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員倫理規定が定められ、全国保育士倫理綱領を全職員に配布し、常に携帯するように努めている。また、年に一度、読み合わせをし、児童福祉法などの関連法令や保育に関わる倫理性を正しく理解するように努めている。「高い倫理観に裏付けられた保育」等の法人倫理研修にて、人権に配慮した保育をおこなうために、職員一人ひとりの倫理観、人間性を育てる研修が実践されている。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人管理体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>園長が就業関係を把握し、職員の出勤状況や有給休暇希望等を踏まえてシフトを調整している。余裕のある職員体制や記録システムのICT化等の業務改善に努め、サービス残業や持ち帰り仕事は殆どないと思われる。職員が休暇を取りやすいように配慮し、急な休暇についても職員全員で補うようにしている。また、行事なども職員同士が協力し合い、スムーズに行える環境を構築している。育児休暇、介護休暇制度が整備され、インフルエンザワクチン接種や職員懇親会費用の一部負担など福利厚生が行われている。今回実施した職員モチベーション確認では「勤務時間内で仕事が完了でき健康管理が出来ている」の設問に対し殆どの職員が「当てはまる」と回答されている。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 職務権限規程を定め、各職位の責任と権限を明確にしている。また、役割別に求められる職員像として職務と求められる能力が明示されている。人事制度は、目標管理制度と人事考課制度が整備され、目標管理制度として職員は「アクションプランシート」に園理念・目標に対して、課題・チャレンジ目標設定などをおこない、「自己評価シート」で自身の行動を振り返り、年3回園長面談を受け個人能力向上と長期育成を図っている。人事考課は積極性、責任感・徹底度、企画・実行力、分析・判断力、折衝力、指導力等を本人評価、上司評価の基に、公平・公正な評価に努めている。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) ホームページに求める人材像を明示し、福祉系大学や各種関連機関で行われる就職説明会に参加し、理念・方針に共感した職員を採用している。また、実習生を受け入れ新規採用につなげていけるように努めている。採用後はキャリアパスを基に個別育成計画をたて、必要な研修を積極的に受講できる体制を整えている。新人職員は教育係り、相談係りの2名体制をとり、OJT主体で丁寧に育成に努めている。開設9年目、職員間のコミュニケーションが良く、働きやすい園づくりに努め、離職者は少ない。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 職種別・役割別の能力基準がキャリアパスとして明示されている。新入職員は法人初任者研修(倫理、実務、総務等)があり、その後フォローアップ研修をおこなっている。園内のOJT育成システムはメンター2名体制を取り、他職員も新任職員をサポートしてチームで育成にあたっている。今年度入職した2名の新人は明るく元気に保育に取り組んでいる姿が確認できた。現任職員には、地域の外部研修に対しても積極的に参加を促している。法人として個人別育成計画・目標を明確にした人材の育成方針が明確であり、研修によるサービスの質の向上につながる仕組みがある。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 園長以下全職員が、「子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止め、個々の成長を促す保育」を大切にし、実践している。子どもに対する言葉遣いや接し方を特に配慮し、お互いに注意しあい、ミーティング等で職員の無意識に行われる不適切な対応を未然に防ぐ取り組みが行われている。不適切保育や児童虐待等の外部研修を受講し、園内研修につなげている。園では国籍による習慣の違いなど保護者から丁寧に聞き取り、できる限りの対応を心がけ、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重することを徹底している。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報保護方針は入園のしおり(重要事項説明書)に明記し、説明会時等に保護者に説明し、同意を得ている。また、行事等でのSNS対応を保護者に依頼している。職員には就業規則等で守秘義務として誓約書を取り交わし、ミーティング、研修等で職員の個人情報保護に対する認識を高め周知・徹底している。個人記録等は管理責任者を置き個人情報の適正な利用と保護に努め、かつ厳重な安全管理措置を講じている。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 職員は相談しやすい雰囲気作りを心掛け、日常的に保護者が保育士に要望等をアプリ連絡帳や口頭で伝えている。運動会や発表会などの行事後には必ずアンケートを実施し、意見や感想、質問等保護者の思いの把握に努めている。把握した意見等は次年度に活かすようにしている。今回の第三者評価保護者アンケートでは保護者満足度は高く、自由意見では感謝の言葉が溢れている。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 「入園のしおり」には園内の苦情解決責任者・相談担当保育士、受付方法・第三者委員名、千葉市民間保育園協議会などの「苦情窓口」が明記され、玄関の掲示板にも掲示され周知している。入園後においても園だより等で随時、周知活動を徹底している。「お手紙ポスト(意見箱)」が玄関ホールに設置され、保護者の意見申し立てや提案を匿名で受け付けている。寄せられた意見は職員会議や法人で検討し、保護者への回答をおこない職員全体で共通理解を図っている。		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
<p>(評価コメント)</p> <p>年度当初に職員はアクションプランシートで自分の年間目標と手だてを掲げ、その後、園長との面談を通して目標を共有しながら保育の実践にあたる。職務評価のチェックは年間2回あり、10月のチェックの後には、アクションプランシートの反省をおこない、新たな課題を上げながら実践を進めており、教育及び保育の質向上計画が年間を通して継続されている。また、園長は職員育成計画を作成し、年間3回の面談や日頃からの職員との対話時間を作る努力をしながら、一人ひとりの育成や保育の向上を目指した具体的なアドバイスに心がけている。</p>		
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>業務の基本や手順が記載されているマニュアルについては、年度当初に職員会議や個別に周知することで、同じ意識を持って業務に当たる事ができている。また危機管理や子どもの命に直結する安全管理、アレルギー対応、事故発生時対応マニュアル等も整備されており、研修時に読み合わせたり、実際に避難訓練やアレルギー対応訓練等をおこないながら、その都度反省を出し合っている。内容の見直しについても、その都度の気づきを職員が出し合い、変更が必要な場合は会議を通じて見直している。各マニュアルはいつでも確認できるよう事務室内に設置している。</p>		
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>問い合わせや園の見学希望については、ホームページや電話で受け付けており、主任や園長が主に対応する。見学の際には、わかりやすいようにパンフレットを渡し、案内しながら園での保育の内容や行事、1日の流れ、リトミックや体操、英語などの時間があることも知らせ、質問には丁寧に答えている。また、園の場所は駅から少し離れているが、駐車場があることや、畑を借りて食育に力を入れている事など、園としての魅力をアピールし、子どもを預けたいと思えるような説明にも心がけている。</p>		
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園の際の説明会において、入園のしおり(重要事項説明書)をもとに理念や保育方針、基本的ルールなどの説明をおこない、保護者の納得が得られた後、同意書を提出してもらい、質疑応答の時間も作り、保護者の意見が反映される場も作っている。また、年度の途中にも保護者との懇談会があり、出された意見や質問事項などは、記録に残し、必要に応じて会議で検討するなどしている。保育理念や園としての思いなどはホームページにもわかりやすく見やすい内容で載せており、通信アプリで園の活動を写真も載せながら知らせる事で理解を得やすくしている。</p>		
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協働体制の下に作成されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれ、また、地域の実態を考慮しながら作成されている。計画の作成にあたっては、年間の反省などにおいて、職員からの意見を取り入れながら一緒に検討をおこなっており、今年度は食育計画についての見直しをし、新たな計画のもとで実践できている。その過程においては、食育の昨年度までの計画と、現在のこどもの状況や発達、興味、経験させた事等を比べて出し合い、新たな視点で作り直した。職員が参画して完成しており、保育の質の向上につながる実績として評価できる。</p>		
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画に基づき、年間指導計画、月間指導計画等が作成されており、3歳未満児については個別計画を作成し、一人ひとりのこどもの状況に応じた保育が実践されている。特に0歳児からのつながりのある保育を意識して実践がされており、一つの発達の姿は、0歳児からの積み重ねの上に成り立っている事を意識できるよう、職員会議などの場で、0歳児の保育の重要性を再認識できるような発表の機会を作っている。このような知識の共有を図っていくことで、園全体で発達の連続性を学び合い、保育を振り返る姿勢が確認できた。</p>		

20	<p>子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりを受容し、子どもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input type="checkbox"/> 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所在用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>各クラス、子どもの発達や興味関心に応じて玩具の設定をおこない、いつでも興味のある遊びができるような環境になっている。用具や素材については常設はしていないが、子どもの要求があった時には応じている。主活動の時間以外には好きな遊びがじっくりできる環境があり、興味の変化に合わせて玩具の入れ替えもおこなっている。3歳以上児クラスにおいては、行事の中の運動会や夏祭り、クリスマス会等に子どもの声を聞き、やりたいことを話し合いながら、遊びが広がるよう心がけており、子どもの主体性を大切にしながら保育を進めている事が確認できた。</p>		
21	<p>乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>0歳児が安心して生活できるように睡眠スペース等、部屋を仕切って環境を整えており、一人ひとりの状況に合わせて保育を実践している。また、手作りの壁画装飾やモビールなどで子どもの好奇心を刺激し興味を持てるような配慮や、受容的応答的な関わりに心がけている。さらに成長に合わせて1歳児との自然な関わりの機会をつくり、様々な刺激を受けながら成長できるようにしている。子どもの情報共有については睡眠中などを利用しておこない、保護者には通信アプリ等で細かく様子を伝えとともに、直接会える時にはなるべく話す機会を設けてコミュニケーションを図っている。</p>		
22	<p>1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(子どもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>基本的な生活習慣の獲得については、言葉かけの工夫をしながら子どもの「やりたい」という意欲を引き出せるようにし、手を出しすぎず見守る時間を大切に、できた喜びを共有できるように心がけている。また、子どもの要求や思いについてはトラブル時においてもその都度代弁し、受け止めながら友だちと遊ぶ楽しさや関わる上でのルール等についてわかりやすく知らせている。遊びの面では探索活動が盛んなので、近隣の公園の広い場所で思い切り楽しめるような機会を作っている。子どもの情報共有は毎日の中でおこない、保護者対応も丁寧にしながら悩みや質問等にもその都度対応できるよう心がけている。</p>		
23	<p>3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>生活面においては、子ども一人ひとりの状況にあわせて家庭と連絡を取り合いながら進められるよう配慮している。また、就学も見据えて子どもが楽しみに就学できるよう学校と連携しながら進めている。ワンフロアで生活することで、言われなくても年上児が年下の子の面倒を見たり、年下児が年上の子の真似をする姿が見られ、アットホームな環境下でそれぞれの成長が自然な形で見られている。職員は毎日の中で情報共有をしながら、子どもの興味関心を把握し、じっくり遊べる環境を確保したり、必要に応じて新たに環境を整えながら養護と教育が一体となった保育を心がけている。通信アプリを利用し週1回写真付きの子どもの様子も配信することで、保護者も日頃の保育が可視化でき、好評を得ている。</p>		
24	<p>身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>地域の方の協力を得て借りた畑には、季節に応じた野菜等が栽培され、子ども・職員が楽しみに世話をしている。職員は食育だけでなく知的な興味関心も大切にし、葉当てクイズなど遊びを広げる姿が確認できた。また、畑を通じて近隣の方々との会話が広がり、近隣のおじいちゃんにはハロウィーンのお菓子配りを依頼したり、コロナ禍で途絶えてはいるが地域の行事にも参加する姿勢がある。子どもの活動としては年間行事はもちろん、地域の公共機関を利用した千葉みなどや葛西臨海公園などへの遠足も含め、日々豊かな体験活動ができるように計画し、実践されている事が確認できた。</p>		

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>異年齢交流が自然にできる環境のもと、職員の過干渉、過介入に気をつけている。特に2～5歳児が同じフロアにいて、小さい子の遊びの入り方や生活面での自立に向けた見守りなど、職員間で情報共有し実践している。また、社会性を身につける過程においてけんかも時には必要と捉え、環境作りの際に配慮したり、見守りながら適切な対応を心がけ、その都度相手の気持ちに気づかせたり、ルールや約束を守ることの大切さを知らせている。4・5歳児においては当番活動があり、朝・夕の会や給食時の手伝いなど、楽しみにしながら取組む姿がある。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>配慮の必要なこどもには、保護者の願いや要望を反映した支援計画を作成している。午睡時間を利用して保護者・保健福祉センター相談員・園長・主任・担任が出席する支援会議では、こどもの様子や困りごと、支援の進め方など共有している。保育者は子どもに対して「できない」「やらない」などと決めつけず、時間をかけ、策を講じ、こどもの経験を大切にしている。また、自分が困っていることを言葉にできることが小学校へのスムーズな移行に繋がると考え「わからないこと・困っていること・手伝ってほしいことは聞いてみよう」という姿勢でこどもに接している。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育時間は朝7時30分から18時30分となっており、時間帯によって合同保育や、0、1歳児と2歳以上児に分散するなど部屋の移動はあるが、こどもが遊びたい玩具や場所を求めた時には保育者間で声を掛け合い、こどもの思いを受け入れ安心して過ごせるよう配慮している。DVD鑑賞の時間を設けているが、一斉に視聴することはなく、他の遊びを含め選択できるようにしている。また、DVDの内容を吟味し、話を途中で切ることがないよう配慮するなど、保育者はこどもにとって何が大切なのかを考え環境を整えている。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>懇談会や運動会、保護者面談の実施、英語やリミック、散歩や食育などの様子はブログで配信し、保護者がこどもの様子を知る機会を設けている。玄関の施錠・開錠は保育者が行ない、送迎の際には全ての保護者に対面して対応している。そして定員40名のワンフロアの良さを活かし、早番・遅番の保育者は全園児の姿を把握し保護者に日中の姿を伝えている。今回実施した保護者アンケートでは満足以上の回答が94%と大変高い評価であったが「保育参観などでどのように過ごしているか見られる機会があると嬉しい」との意見が寄せられている。コロナ以降中止となっている保育参観など、こどもの日常の姿を実際に見てもらえる機会を作り、さらなる保育の理解に繋がることに期待したい。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>小学校や消防署の見学、神社へのお参り、ハロウィンでのお菓子配りなど、地域と積極的に交流を図りながら保育をすすめている。昨年度は近隣企業の協力で、4・5歳児が魚をさばく様子やしりロボットの見学、客になった職員に寿司を運ぶ体験をした。今年度は広域避難場所となっている中学校に行く計画を立てている。さらに、コロナ以降中止となっている地域の夏祭りや盆踊りを園が主体となって開催できるよう積極的に取り組んでいる。今後、地域交流をさらに広げ、子育てのアドバイスやサポートなど地域の子育て支援の拠点となる取り組みに期待したい。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>家庭での不適切な養育の兆候などが確認できた場合には、千葉市や児童相談所と連携が図れる体制を整えている。こどもの傷やあざは全て園長又は主任に報告することが徹底されており、気になる傷は写真で残すようにしている。消えてしまう湿疹などについても写真で残り、保護者と状態を共有できるようにしている。不適切な保育の研修を受け、全職員で共有している。</p>		

31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 毎月、発育測定の実施し、1年に1回保護者と成長を喜び合える手だてとして足型を採っている。嘱託医による内科検診を年2回、歯科健診を年1回実施し、結果については連絡アプリにて知らせている。受け入れ・引き渡し時の記録簿には熱や怪我、健康状態を記載し、伝達漏れがないようにしている。SIDSに関しては職員に知識を周知し、保護者にも入園のしおりに防止策を記載し啓蒙している。午睡時は室内照明は消さず、子どもの顔色や状態の変化に気付ける環境を整え、特に0・1歳児のうつ伏せ寝については、仰向けに姿勢を変えるよう徹底している。		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) トイレに嘔吐処理セットを設置し、素早く対応できるように備えている。排泄物や血液が付着した衣服は番号が付いた個別の密閉容器に保管し、番号を確認して持ち帰ってもらうようにしている。救急用の薬品や預かった薬は、子どもの手が届かない場所で管理し、園長又は主任が対応している。子どもの体調が優れないときは他児から離れたところで休めるよう配慮している。千葉県保健所職員に手洗いチェッカーを使って手洗い教室を実施してもらい、正しい手洗いの仕方の指導を受け、感染防止に努めている。入園説明会では嘱託医から予防注射や発熱時の対応など園生活をする上で必要な話をしてもらい、保護者の協力を得ている。		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント) 畑では無農薬で白菜、小松菜、大根、ブロッコリー、トマトなどを栽培し、子どもたちは虫がたくさんいることを体験している。近年は猛暑で育ちにくく、子どもたちもなかなか畑まで行けない状況にあるため、敷地内のプランターでジャガイモ、きゅうり・オジギソウなどを育て、子どもたちが間近で生長を見たり触ったりできるよう取り組んでいる。また、野菜洗い、ピーラーでの皮むき、包丁でカットすることや食材を和えることなどに挑戦し、収穫から調理までの楽しさを経験することで、苦手な野菜を口にする子どもが多くなっている。栄養士は食事やおやつ時に巡回し喫食状況を確認しながら調理に活かし、工夫を重ねた行事食など美味しく楽しい食事を提供している。アレルギー児については座る場所を決め、専任の職員が対応するようにしている。アレルギー食は作り終えたらすぐにラップをして冷蔵庫に保管し、他児の配膳後にダブルでチェックをして保育室に運び、誤食防止に努めている。		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) 温度・湿度計を備え、換気扇は24時間稼働し環境を整えているが、夏季は加湿器を使用しないことから、一体型の空気清浄機も使われていなかった。感染症予防のため、通年を通して空気清浄機の使用が望ましい。戸外に熱中症アラート計測器を置き、畑や散歩に行く際の目安にしている。午睡時に玩具や室内のアルコール消毒を行ない衛生管理に努めている。ワンフロアで煩雑になりがちな物品はカバーを掛けたり工夫して収納し、整理整頓に努めている。		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 受診した怪我は事故報告書を作成しているが、この数年は受診する怪我は起きていない。ヒヤリ・ハットについては毎月多くの報告が出されており、職員の意識の高さが伺える。毎月の会議においてヒヤリ・ハット報告がされているので、1つの事例から気づきや改善点など意見交換する機会を作り、重大な事故を防ぐ手立てとして活かされることに期待したい。不審者対応マニュアルが作成されているので、訓練を実施し、より実践的なマニュアルとなることが望ましい。		

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
地震・津波・火災など非常災害発生に備えて、役割分担や対応などのマニュアルを整備し周知している。地震・火災時の訓練は毎月実施し、消防署立ち合いの訓練も行なっている。津波発生時には園ビル3階へ垂直避難となっており、訓練を実施している。津波の状況によっては高台にある病院の駐車場に避難できるよう対策を講じている。保護者には園からの一斉メール及び伝言ダイヤルを活用した安否確認方法を周知し、年1回の引き渡し訓練も行ない、非常時に備えている。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
毎月第4木曜日を園開放して、育児相談や発育測定を行なっている。開放日はホームページや掲示で周知し、園見学にきた方にも声を掛け案内している。在園児の保護者や地域には若い方が多く、特に初めての子育てとなる0歳児の保護者には丁寧に対応し、悩みや困りごとの相談をしてもらえるよう心掛けている。町内会に所属し、夏祭りの太鼓を借りるなど交流を図りながら、地域の子育てニーズの把握に努めている。			